

## 令和6年度国立大学法人東京海洋大学第2回経営協議会議事要録

日 時 令和6年9月18日（水）14：00～16：20

場 所 白鷹館 多目的スペース1（品川地区）及び Webexによるビデオ会議

出席者 井関学長、五十嵐委員、池田委員、井手委員、井上委員、河村委員、関根委員、  
松本委員、吉武委員、舞田理事、金岡理事、村上理事、工藤理事、渡辺理事、  
岡安学術研究院長

オブザーバー 藤原監事、加藤監事、婁副学長、廣野学長補佐、後藤海洋生命科学部長、  
元田海洋工学部長、宮本海洋資源環境学部長、兵藤海洋科学技術研究科長

事務担当者 永井総務部長、塚本財務部長、笹田学務部長、平尾総務課長ほか事務関係者

### 議 事

#### 【審議事項】

#### 1 国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況等に関する報告書について

村上理事から、資料1に基づき、国立大学法人ガバナンス・コードの適合状況等に関する報告書について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

#### 2 目的積立金等の使用計画について

村上理事から、資料2に基づき、目的積立金等の使用計画について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

主な質疑応答は以下のとおり（○：質問及び意見、●：回答）

- 本来は通常予算の中で措置すべき事項について、大学が努力して確保した剰余金を使用するのは残念である。厳しい状況かも知れないが、目的積立金等は優れた業績をあげた研究者へ学長賞として配分するなど、戦略的に使っていただきたい。
- 国立大学はどこも厳しい状況であり、昨今の物価上昇等により、通常予算内で対応しきれない状況があるが、ご指摘のとおり戦略的な使用ができるよう努めてまいりたい。
- 運営費交付金の問題もあるが、施設の減価償却費がどの程度か意識することも重要である。国から措置される設備整備費は十分ではないが、本学は都心にあり他の国立大学より土地活用を有利に展開できる。これらの状況を総合的に捉え長期的な視点でキャンパスマスタープランや財務戦略を作成していただきたい。
- 今後、そういった内容もお示ししていきたい。

#### 3 戦略的設備整備・運用計画の策定について

村上理事から、資料3に基づき、戦略的設備整備・運用計画の策定について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

主な質疑応答は以下のとおり（○：質問及び意見、●：回答）

○設備の共用化を進める方針には大いに賛同する。設備を共用する上で、技術職員の存在が重要になってくるが、海の研究マネジメント機構等でこうした職員の戦略的な配置等について検討しているのか。

●技術職員は全学的に数が少なく、予算の関係で配置できていない。最終的には共用設備を集約したセンターを設置し、希望者が利用しやすい状況を作ることが理想であるが、技術職員の確保や、共用化に適さない特殊な機器等もあり、難しい状況である。

#### 【報告事項】

1 令和6年度人事院勧告について

村上理事から、資料4に基づき、令和6年度人事院勧告について報告があった。

2 令和7年度予算の概算要求について

村上理事から、資料5に基づき、令和7年度予算の概算要求について報告があった。

3 令和6年度科学研究費助成事業の採択状況等について

岡安副学長から、資料6に基づき、令和6年度科学研究費助成事業の採択状況等について報告があった。

4 令和6年度東京海洋大学海洋工学部海事システム工学科及び海洋電子機械工学科  
一般選抜（後期日程）における解答例の一部誤りと採点ミスについて

舞田理事から、資料7に基づき、令和6年度東京海洋大学海洋工学部海事システム工学科及び海洋電子機械工学科一般選抜（後期日程）における解答例の一部誤りと採点ミスについて報告があった。

5 令和6年度「大学の世界展開力強化事業～EU諸国等との大学間交流形成支援～」の採択  
について

舞田理事から、資料8に基づき、令和6年度「大学の世界展開力強化事業～EU諸国等との大学間交流形成支援～」の採択について報告があった。

以上

配付資料

○令和6年度第1回経営協議会議事要録（案）

資料1-1 令和6年度 国立大学法人ガバナンス・コードに対する適合状況報告（概要）

資料1-2 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書（令和6年度）  
（案）

資料1-3 経営協議会委員からのご指摘に伴う修正箇所について

資料2 目的積立金等の使用計画について（案）

資料3 国立大学法人東京海洋大学における教育研究設備等整備に関する基本的考え方（案）  
（戦略的設備整備・運用計画）

資料4 令和6年度人事院勧告について

資料5 令和7年度概算要求事項（令和6年8月末時点の状況）

資料6 令和6年度科学研究費助成事業採択状況等報告

資料7 令和6年度東京海洋大学海洋工学部海事システム工学科及び海洋電子機械工学科  
一般選抜（後期日程）における解答例の一部誤りと採点ミスについて

資料8 令和6年度「大学の世界展開力強化事業～EU諸国等との大学間交流形成支援～」に  
本学申請事業「METIS」が採択されました